

あさひの日だまり

令和6年 3月18日 (月)

NO.42

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～今年度1年間お世話になりました～

卒業そして進級です

令和5年度の修業式を先週終え、今日はいよいよ卒業式です。ここまでご家族の皆様には学校からのいろいろなお願いにご協力いただきました。心より感謝申し上げます。学校の対応がきちんとできていないときや、職員の対応で失礼なこともあったと思います。この場をお借りしてお詫び申し上げます。一人ひとりの子どもたちが新しいスタートに希望と楽しみを抱きながらのぞめることを心より願っております。そしてその思いを実現するお手伝いができますように私たち教職員も精一杯努めてまいります。

今年度お世話になりました教職員のうち何名かの職員が今年度末を持ちまして転退職いたします。本来ならば直接ご家族の皆様にごこれまでお世話になった御礼を申し上げるべきところですが、この紙面をお借りして感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。ご無礼をお許しくださいます。

「今まで本当にお世話になりました。それぞれの任地におきまして辰野東小学校で保護者の皆様や地域の皆様からご指導いただきましたことを忘れることなく、新たな任地の子どもたちにご家族のために精一杯尽くす所存です。これまで本当にありがとうございました」

今年度末の人事異動により退職・転出予定の教職員

伊藤 文雄教頭先生	伊那市立春富中学校へ
原 和子先生	ご退職
山口 芳子先生	伊那市立伊那北小学校へ
笹尾あけみ先生	駒ヶ根市立赤穂東小学校へ
金子 哲也先生	箕輪町立箕輪中部小学校へ
山田 朋加先生	諏訪市立諏訪西中学校へ
高橋 準 先生	富士見町立富士見小へ
酒井 浩輔先生	長野市立裾花小学校へ
栗原 沙希先生	ご退職
遠藤 陽子調理員	辰野町立辰野中学校へ
メラジル・ヴィラレズ先生	長野市教育委員会管内へ (未定)

卒業式におきまして、式辞として卒業生に校長としての言葉を送りました。言葉足らずの文章で卒業生の思いに寄り添えたかどうか心配ですが、ここに記させていただきます、今年度最後のお便りの結びとさせていただきます。

式辞

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

卒業生のご家族の皆様、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。

先ほど告示をいただきました、辰野町教育委員の皆様、誠にありがとうございます。

宮澤教育長様、三澤PTA会長様をはじめ多くのご来賓の皆様、ご多用中にもかかわらずご来校いただきこうして卒業生の旅立ちを祝福していただいておりますことに心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん。前にもお話ししたかもしれませんが。校長先生は、小学生の時、いつでもクラスの中で帰りの準備ができるのが一番最後でした。忘れ物もクラスで一番か二番でした。だから校長先生は「どうしてぼくは他の人と同じようにちゃんとできないんだろう」と悲しく思っていました。自分はダメなんだって思っていました。

そして、竹とんぼ作りにも失敗して、ちゃんとした竹とんぼなんて自分には作れっこないってあきらめていました。

だから、周りの人にはたいしたことじゃないって思われるかもしれないけど、もう一度竹とんぼ作りをしてみようというのは校長先生にとってはとっても大きな挑戦だったんです。

でも、皆さんに「挑戦することほど楽しいことはないよ」とお話ししてきましたよね。「自分で話しているのにあきらめていいのか」って考えて頑張るしかないと覚悟を決めたんです。

実は、本当のことを言うと、もう一人の自分が「ぶきっちょなお前になんかどうせうまくできないに決まってる」って耳元でつぶやいていたんです。だから、高く飛ぶ竹とんぼができたときは、自分の作った竹とんぼが体育館の天井まで舞い上がっていることを信じることはできませんでした。夢のように感じました。

皆さんに渡した竹トンボは、校長先生が一つ一つ心を込めて作りました。

「あなたの持ち主が悲しい気持ちに包まれて涙を流していたら、陰からきつといいこともあるよと優しく見守ってあげて」と願いを込めました。

「あなたの持ち主が、できるかどうか心配で一步を踏み出す勇気を持ってないでいたら、失敗してもいいんだよ、何度でもやり直せばいいんだからと励ましてあげて」と願いを込めました。

「あなたの持ち主が、何度も自信を失って落ち込んでいたら、陰からそっと次こそきつとうまくいくよと励ましてあげて」と願いを込めました。

「周りの目が気になってやりたいことができないでいたら、やりたいことをやった方が絶対楽しいよと応援してあげて」と願いを込めました。

「あなたの持ち主に、あなたにはまだ自分が出会っていないすごい能力があるのですよと伝えてあげて」と願いを込めました。

皆さん、もしよければ、部屋の中の邪魔にならないところに、この竹トンボおいてあげてください。隅っこの方でいいですから。

皆さんをその竹トンボが応援しています。羽が折れて飛べなくなっても、軸が飛ばされてバラバラになっても、あなたが明るい未来へ飛び立っていく後姿を応援しています。

以上で学校長式辞を終わります。

令和六年三月十八日

辰野町立辰野東小学校長 片桐 広文